

平成27年11月19日開催

長野市連携中枢拠点都市圏ビジョン懇談会における意見・提案等について(確定版)

※坂城町商工会は欠席

1 ビジョン又は事業に反映させるもの【1件】

No.	事項	意見・提案内容	団体
1	目指すべき将来像	<p>【将来像を導き出す課題の記述】</p> <p>「③農商工連携など幅広い施策による産業振興」の現状の二番目で、「商工業は一部回復傾向が見られるものの、ともに伸び悩みの傾向にある」と記載されているが、具体的に何が伸び悩んでいるかが分からない。景気のことを言っているのか、求人情報のことを言っているのか、加筆する必要がある。</p>	須坂商工会議所

2. 長野地域の将来像
(1) 目指すべき将来像

(仮称)長野地域連携中枢都市圏ビジョン(案) 抜粋

《長野地域の現状から導き出される主な課題》

【修正前】

③ 農商工連携など幅広い施策による産業振興

【現状】

- ・ 農業従事者の減少や高齢化が進んでいる
- ・ 商工業は一部回復傾向が見られるものの、ともに伸び悩みの傾向にある
- ・ 市町村によって就業者割合が高い産業が異なっており、地域内では産業の幅が広いためその多様性に配慮が必要



【修正後】

課題3 農商工連携など幅広い施策による産業振興

【現状】

- ・ 農業は従事者の減少や高齢化が進んでいる
- ・ 工業は従業者数及び製造品出荷額等に回復傾向が見られるものの、その傾向は緩やかである
- ・ 商業は従業者数や事業所数及び販売額のいずれも減少傾向にある
- ・ 市町村によって就業者割合が高い産業が異なっており、圏域内では産業の幅が広いためその多様性に配慮が必要

2 今後の取組の参考にさせていただくもの【33件】

No.	事項	意見・提案内容	団体
1	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進	<p>【産学金官民連携による創業促進】</p> <p>長野県内では、飯田・下伊那であれば航空宇宙産業、松本はヘルスケア、諏訪はメディカルといったように、各地域で特色ある次世代成長産業の動きが出てきており、一緒になって取り組まさせていただいているところがあるが、長野圏域も信州大学があるので特色ある地域の産業を一緒になって興していけたらと考えている。ICだけでなく観光や製造業など各種産業にかかわるものであること、9市町村が一緒になって取り組むことができるものであること、若者定着・働く場の提供にもつながること、空き家対策にもなるということからIoTを長野地域の旗印に掲げて取り組んでいけばいいと思う。</p>	八十二銀行

No.	事項	意見・提案内容	団体
2	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	【産業フェア】 現在実施している産業展示会、産業フェアは東北信、上越、北陸を含めた広域で取り組んだ方が効果が高いと思われる。諏訪メッセのように、商談につなげていくのかというような位置づけを明らかにして取り組んだ方がいい。	八十二銀行
3	戦略的な観光施策	【広域観光】 長野地域には歴史観光産業、伝統文化、綺麗な風景、温泉がある。野球やサッカーも盛んであるし、千曲市には信州ブレイブウォリアーズがあるので、スポーツツーリズムも含めて、連携をしていければいい。	千曲商工会議所
4	戦略的な観光施策	【広域連携による宿泊確保】 大きいイベントがあればあるほど、この管内に宿泊施設が足りなかったり、交流を深めようと管内に来ようと思ったら戻ることができないという状況がある。ビジョンの中に、9市町村連携しながら、このエリアの中で人を泊められれば活性化につながるので、宿泊施設の確保を盛込んでいただきたい。	ながの農業協同組合
5		【長野駅観光情報センターの広域活用】 長野駅に開設している観光情報センターの活用を提案。待合スペースで様々な情報発信を行うことができる構造になっているので、是非周辺市町村にお使いいただければと思う。	ながの観光コンベンションビューロー
6		【広域観光】 飯綱町は圏域内の観光はあっても、県外からの観光が弱いので、飯綱町はこういう役割を担ってくれとか、こっちに来たお客様をどちらの方面に送り出した方がいいとかいうように、具体的な話ができてくれば、観光資源を見直して域内でつくり上げていくことができればと思っている。	飯綱町観光協会
7	圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	【企業誘致】 信州大学にはインキュベーション施設(UFO長野)があるが、これ以外にも大学独自のインキュベーション施設があるし、若里地域には長野県の工業技術センターもあり、知の集積ができる要素があり、共同研究が圏域内の企業だけでなく県外の企業とも連携してできるので、こういったものを核として産業誘致・企業誘致をするというのがいいのではないかな。	信州大学
8		【UIJターン促進】 長野市では現在夏休みにバスで企業を回るという企画を実施されているが、できれば連携事業の中で、各市町村の良い企業を回って大学生がUIターンしてきて就職できる機会を与えてもらいたい。	連合長野長野地域協議会
9		【バイオマス利活用推進】 長野県は森林地域の面積が広いので、広域連携のメリットを活かして、木質バイオマスの関係に取り組んでいくのがいいのではないかな。	信州高山温泉郷観光協会
10	障害者や生活困窮者等への自立支援や子育て支援の充実など	【子育て支援事業】 企業誘致という意味で、働く場がないと人口定着にはつながらないのできちんと進めていただきたいと思っているが、子育てについての部分について、連携提案事業にはあまりないように感じる。将来的な展開の中で、是非取り組み、強化をしていただきたい。	連合長野長野地域協議会
11		【生活困窮者対応事業】 内容を見ると生活困窮者に対する部分が弱いのではないかなと思う。生活困窮者に対する事業もぜひ盛り込んでいただきたい。	連合長野長野地域協議会

No.	事項	意見・提案内容	団体
12		<p>【子育て支援事業】 平成27年度版の厚生労働白書の中で、子育てをしている方々が理想の住まい方として、親世代との同居あるいは近居を過半数が選択している状況から、必ずしも核家族を望んでいるわけではないことが分かる。地域の支えが子育てにとっては必要であると考えている人が9割を超えているという調査結果があるので、地域での子育てに焦点をあてた事業に取り組んでいくことが大切ではないか。</p>	長野県須坂看護専門学校
13	再生可能エネルギーの活用及び低炭素・資源循環型社会の形成等に向けた取組	<p>【木質バイオマス利用促進】 木質バイオマスについて記載いただいている。長野エリアは森林資源が豊富で、坂城町の庁舎、長野市の温泉施設にはペレットボイラーを設置いただいて、森林資源活用のアクションを起こしていただいているが、ここに記載の通り、スケールメリットがこの事業の最大のポイントとなってくる。スケールメリットを連携事業の中で実現していただければ、資源は豊富であり、再生可能な範囲で提供することが可能である。塩尻市が行っているものとは違った小規模分散型による自然に優しい循環型の事業展開がこの地域では必ずできると確信している。</p>	長野森林組合 森林づくり推進課
14	取り組み方	<p>【取り組み方】 時間をかけてじっくりと取り組み、やる以上は市町村が覚悟を、そして、受け皿づくりをしっかりとやっていかなければうまくいかない。</p>	須坂商工会議所
15		<p>【取り組み方】 ある程度長期的な中で、お互いを信頼しながら、方向性を共有しながら地に足が着いた中身で段階的に進めるべきではないか。</p>	グリーン長野農業協同組合
16		<p>【取り組み方】 一つでも成功事例をできるだけ早くつくって実績を示していただきたい。</p>	小布施文化観光協会
17		<p>【取り組み方】 今回の連携を機会に、お互いが交流しながら情報共有をしていくことが大切である。</p>	信州高山温泉郷観光協会
18		<p>【取り組み方】 全国を見渡して、この地域で何が強みかといこうとを考え、その個性を長野市が中心に支えていくという関係ができれば、魅力がアップし、地域振興につながっていくのではないか。</p>	長野森林組合 森林づくり推進課
19		<p>【取り組み方】 今回の連携を機会に、お互いが交流しながら情報共有をしていくことが大切である。</p>	飯綱町観光協会
20		<p>【取り組み方】 この連携中枢都市圏では、Win-Winの関係をいかに具体的に築いて事業を実施し、かつ市民の満足度をいかに得ていくかが重要である。</p>	長野森林組合 森林づくり推進課
21	事業参加	<p>【市町村の事業参加】 9市町村全ての足並みが揃っているわけではない。いろいろな考え方の中で、参加を表明していない市町村がある。全ての自治体の中に農業があるわけであるので、この連携に積極的に取り組んでいただき、全ての市町村が参加していただくようお願いしたい。</p>	須高農業協同組合
22	枠組み	<p>【枠組みについて】 今回は、長野市を中心とする近隣の市町村ということであるが、飯山、志賀高原、大町との部分的な連携も検討して行くべきではないか。</p>	グリーン長野農業協同組合
23		<p>【枠組みについて】 JAの合併が行われると、北信は5市5町5村の自治体を全て網羅することになる。連携中枢都市圏を中心に北信全体の事業展開・連携を模索することをお願いしたい。</p>	須高農業協同組合

No.	事項	意見・提案内容	団体
24	成果指標	<p>【成果指標の内容】 この連携中枢拠点都市の取組は産業分野にスポットがあたっているが、これらに該当するものが見当たらない。新規創業、企業誘致等の産業に関する指標を盛り込むことを是非検討いただきたい。 また、「長野駅の乗車数」「インターチェンジ乗降車数」は交流人口ということで掲げているのか。交流人口ということであれば、観光消費額があるのでこちらの方が有効ではないかと思う。インバウンドの視点では、外国人宿泊者数を増やすといったものを検討いただいた方がいいのではないかと。</p>	八十二銀行
25	指標評価	<p>【進捗管理】 成果指標に関し、どのように進捗を見ていくのか。</p>	信州高山温泉郷観光協会
26	観光分野の重要性	<p>【観光分野の重要性】 観光は文化、交流人口を増やすので、少子高齢化社会に必要な産業である。</p>	千曲商工会議所
27	広報周知	<p>【ビジョン等の広報・周知】 ビジョンが策定されたり、事業が始まったときにどのように住民に広報されていくのか、地域の住民の方がそれを知って連携の一翼を担っていく、地域住民の協力も必要であるので、住民に知っていただくことも大切ではないか。</p>	長野県須坂看護専門学校
28	学生の活用	<p>【学生の活用】 長野市には工学部、教育学部があり総勢3,000名の学生がいるので、様々な事業の実施に当たっては、この若い力をうまく使っていただきたい。</p>	信州大学
29	子育て、公共交通事業	<p>【子育て、公共交通事業】 我々山間地域は、有害鳥獣の問題、耕作放棄地の問題、公共交通の問題といったことがある。連携する地域には、我々と特に子どものことや公共交通について共通の課題をお持ちであるところがあると思うので、連携の取組の中で、取り組んでいただきたい。</p>	鬼無里地区住民自治協議会
30	地域特性の活用	<p>【地域特性の活用】 地域資源の活用ということで、耕作放棄地に植樹をするということであるが、地域の特性を活かすよう進めていくべきではないか。</p>	鬼無里地区住民自治協議会
31	「食」に関する事業	<p>【「食」に関する事業】 若い母親の中には、「食」に興味を持っている方が沢山いるので、第一次産業であるとか商品化の部分で、彼女たちのアイデアを活かして農業等にかかわることができる部分があるのではないかと。</p>	坂城町子育て支援センター
32	子育て事業	<p>【子育て事業】 社会全体で、次の世代を担う子供たちを育てようという意識になるような取組を行っていただきたい。</p>	坂城町子育て支援センター
33	少子化対策	<p>【少子化対策】 今日「マタハラ」が社会の問題となっているが、ハラスメントがある以上、安心して子供を産むことができる社会ではないと感じている。働き続けるには、社会のサポートが必要である。</p>	坂城町子育て支援センター

3 その他(取組・事例の紹介など)【11件】

No.	事項	取組・事例紹介内容	団体
1		<p>【結婚支援】 人口減少対策としてマリッジサポートセンターを開設し、長野県が実施している「ながの結婚支援ネットワーク」と連携している。</p>	長野商工会議所
2		<p>【大学等との連携】 清泉女学院大学・短期大学と包括連携協定を締結し、地域の様々な課題に取り組む。</p>	長野商工会議所

No.	事項	意見・提案内容	団体
3		<p>【組織体制強化】 JAながの、JA須高、JAちくまで、どうやったら農業の振興、組合員の所得向上につながられるかということを議論し、平成28年9月1日の合併をめざしている。具体的な規模は、この連携中枢都市圏内では、正組合員が約28,600人、准組合員が約25,500人で、合わせて約54,100人の会員を抱えることになる。</p>	須高農業協同組合
4		<p>【外国人観光客対応】 11月27日から管理・運営している長野駅の観光情報センターで自動両替機を導入し、12カ国の通貨を日本円に両替する外貨両替を始め、外国人観光客への対応を行う。</p>	ながの観光コンベンションビューロー
5		<p>【学生の地元理解教育カリキュラム】 地域戦略センターでは文部科学省のCOCの事業の中で、全学部で地域に関することを必修にすることとしている。一年次には授業で地元に関する知識を与え、高年次には実際に様々な自治体や場所に行って体験しながらご意見をいただきたいということを考えている。これまで大学は自治体と様々な事業で連携をさせていただいているが、そこにもう少し学生が関わるように考えていきたい。</p>	信州大学
6		<p>【金融支援】 金融機関はお金の面で最も関わりが深い。企業や個人へお金を通じて雇用を増やしていくなど力を高めていただき、地域全体の活力を高めていくといった観点から資金を融通させていただいていることが最大の使命だと思っている。従前の融資だけではなく、ファンドをつくらせていただいたり、地域の資源にスポットをあてて資金を募っていくというクラウドファンディングといった制度も用意させていただき、お金の面で役に立ちたいと考え取り組んでいる。</p>	八十二銀行
7		<p>【県外拠点での企業誘致活動】 企業の個別情報も持っているし、県外にも拠点があるのでネットワークを活かして、マッチングや繋ぐ役割・コーディネートの役割の面で役に立ちたいと考えている。県外拠点で、長野県への企業誘致や移住といったように、外から人を呼び込むということを一生懸命やっている。</p>	八十二銀行
8		<p>【地域活力を高める取組】 地域の魅力・資源を一緒になって光りをあてて事業化につなげていきたい、内発的なことにも力を注いで地域の活力を高めていきたいということで、自治体、企業と一緒に取り組んでいるが、今後も強化してまいりたいと考えている。</p>	八十二銀行
9		<p>【須坂市総合戦略】 高齢者が長く働くというのではなく、多様な選択肢の中で生き生きと生活できることが大切ではないかということで、人口減少のマイナスイメージではなく逆転の発想をもっていこうという意見が出されて、須坂市の総合戦略はつくられた。</p>	長野県須坂看護専門学校
10		<p>【小布施町総合戦略】 小布施町は、人口が減少していく中でどうしたらいいか総合戦略について討議を重ねた。小布施町の指針は、各学年で100人を保ち、健康で生活していけるという観点から策定した。</p>	小布施文化観光協会

No.	事項	意見・提案内容	団体
11		<p>【小川村地域活性化の取組】 「信州・村の大学おがわ」は、文部科学省のいうところの大学ではなく、公民館活動や熟年大学・成人大学とも違う。自然楽部、文化歴史楽部、地域楽部、食行楽部という四つの楽部から成っており、学部は学ぶ学部ではなく楽しむ楽部である。20名の教授が登録されている。教授は、各地で活躍されている中堅の方々がメインである。学生は、4歳から90歳までである。知識を学ぶ以外に体験学習を入れ、楽しむ楽部として地域おこしの活動している。開設から2年が経ち、まち・ひと・しごとの戦略分野の助成金を先行していただいて活動しており、事業の参加者は4月からで1,000名を超えている。また、インターネットで参加していただく仕組みをとって、その半数はインターネットで参加いただいている方である。</p>	信州・村の大学 おがわ